

# 神経病学

責任者・コーディネーター	脳神経内科・老年科分野 前田 哲也 教授		
担当講座・学科（分野）	脳神経内科・老年科分野、脳神経外科学講座、小児科学講座、超高磁場MRI診断・病態研究部門、放射線医学講座、医学教育学分野、障がい児者医療学講座		
担当教員	前田 哲也 教授、佐々木 真理 教授、小笠原 邦昭 教授、別府 高明 教授、田島 克巳 教授、板橋 亮 教授、亀井 淳 特命教授、土肥 守 客員教授、久保 慶高 准教授、水野 昌宣 講師、西川 泰正 講師、菅原 淳 講師、工藤 雅子 講師、赤坂 真奈美 講師、鈴木 智大 助教、佐浦 宏明 助教(任期付)		
対象学年	3	区分・時間数	講義 39コマ 58.5時間
期間	通期		演習 0コマ 0.0時間
			実習 0コマ 0.0時間

## ・学習方針（講義概要等）

神経病学の基本理念：中枢神経、末梢神経疾患および筋疾患の総論、各論を関連各科によって系統立てて講義することを方針とする。

## ・教育成果（アウトカム）

これまでに学んだ中枢神経、末梢神経、筋の解剖および病態生理学の基本的知識を基礎として、各神経疾患の病因、病態について学ぶことで、それらの知識を臨床で活用できる実践的総合力を獲得する。

(ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,5,6,7,8 )

## ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	基礎医学の知識の上に立って、脳、脊髄、末梢神経および筋の正常構造と機能を説明できる。
2	神経診断学の基本的知識として、神経心理学的検査、神経生化学における脳脊髄液検査、神経電気生理学における脳波、末梢神経伝導検査、筋電図、誘発電位などの諸検査の方法、重要性を説明できる。
3	CT、MRI、脳血管撮影、脳血流シンチグラフィなどの神経放射線学的基礎知識を習得した上で、各神経疾患に特徴的な画像所見を説明できる。
4	脳血管性疾患、脳脊髄腫瘍、変性疾患、代謝性疾患、機能的疾患、感染、中毒、外傷および奇形などの中枢性疾患について、内科学的、外科学的な基本的知識を説明できる。
5	脊髄疾患、末梢神経および筋疾患について内科的あるいは整形外科的基本知識を説明できる。
6	小児神経学を学び、成人とは異なる小児に特有な神経学的所見、症状を良く理解し、小児神経疾患の基本的知識について説明できる。

## ・講義場所

講義：東1-C講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
講義	5/7(木)	5	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	神経生化学	1,4
講義	5/11(月)	5	脳神経内科・老年科分野	水野 昌宣 講師	神経電気生理学	1,2
講義	5/13(水)	1	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	自律神経障害	1,3,4
講義	5/13(水)	2	脳神経内科・老年科分野	水野 昌宣 講師	脱髄性疾患-多発性硬化症	3,4
講義	5/20(水)	1	脳神経外科学講座	久保 慶高 准教授	脳血管障害1（脳内出血をきたす疾患）	1,4
講義	5/20(水)	2	脳神経外科学講座	小笠原 邦昭 教授	脳血管障害2（閉塞性疾患の外科的治療）	1,4
講義	5/27(水)	1	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	パーキンソン病と関連疾患1	1,4
講義	5/27(水)	2	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	パーキンソン病と関連疾患2	1,3,4
講義	6/3(水)	1	脳神経内科・老年科分野	工藤 雅子 講師	神経心理学	2
講義	6/3(水)	2	脳神経内科・老年科分野	工藤 雅子 講師	頭痛、てんかん	1,4
講義	6/10(水)	1	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	小脳性疾患	1,2
講義	6/10(水)	2	小児科学講座	赤坂 真奈美 講師	小児の筋疾患（筋ジストロフィー、ミオパチー、ミトコンドリア異常症）	5,6
講義	6/17(水)	1	脳神経外科学講座	土肥 守 客員教授	脳血管障害3（クモ膜下出血をきたす疾患）	1,3,4
講義	6/17(水)	2	脳神経内科・老年科分野	板橋 亮 教授	脳血管障害4	1,4
講義	6/19(金)	1	脳神経内科・老年科分野	水野 昌宣 講師	末梢神経障害1	1,4
講義	6/19(金)	2	脳神経内科・老年科分野	水野 昌宣 講師	末梢神経障害2	1,4
講義	9/23(水)	3	障がい児者医療学講座	亀井 淳 特命教授	小児の神経疾患各論1	4,6
講義	9/25(金)	2	脳神経内科・老年科分野	板橋 亮 教授	脳血管障害5	1,2,3,4
講義	9/30(水)	1	脳神経内科・老年科分野	水野 昌宣 講師	成人の筋疾患	5
講義	10/7(水)	1	障がい児者医療学講座	亀井 淳 特命教授	小児の神経疾患2	6
講義	10/7(水)	2	脳神経内科・老年科分野	板橋 亮 教授	脳血管障害6	1,4
講義	10/14(水)	1	脳神経内科・老年科分野	工藤 雅子 講師	神経疾患のケーススタディ1	1,2,3,4
講義	10/14(水)	2	脳神経内科・老年科分野	工藤 雅子 講師	神経疾患のケーススタディ2	1,2,3,4
講義	10/21(水)	1	脳神経外科学講座	別府 高明 教授	悪性腫瘍：（神経膠腫・胚細胞性腫瘍・転移性脳腫瘍・その他）	1,3,6
講義	10/21(水)	2	脳神経外科学講座	佐浦 宏明 助教(任期付)	良性腫瘍（間脳・下垂体腫瘍以外）	1,3,4
講義	10/28(水)	1	超高磁場MRI診断・病態研究部門	佐々木 真理 教授	脳腫瘍の画像診断	1,3,4

講義	10/28(水)	2	脳神経外科学講座 脳神経外科学講座	西川 泰正 講師 佐浦 宏明 助教(任期付)	小児の神経疾患各論3(先天奇形) / 機能的脳外科(片側顔面けいれん、突発性三叉神経痛)	1,2,3,4,6
講義	11/2(月)	1	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	神経疾患の分子遺伝学	1,4
講義	11/2(月)	2	障がい児者医療学講座	亀井 淳 特命教授	小児の神経疾患各論4	3,4,6
講義	11/4(水)	1	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	代謝性疾患 / 中毒および欠乏性疾患	2,3
講義	11/4(水)	2	超高磁場MRI診断・病態研究部門	佐々木 真理 教授	脳血管障害の画像診断	1,3,4
講義	11/11(水)	1	脳神経内科・老年科分野	工藤 雅子 講師	認知症	4
講義	11/11(水)	2	脳神経内科・老年科分野	工藤 雅子 講師	全身疾患における神経障害	3,4
講義	11/18(水)	1	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	中枢神経系の感染症	1,2
講義	11/18(水)	2	放射線医学講座	鈴木 智大 助教	頭蓋底・脊髄疾患の画像診断	1,3,4,5
講義	11/25(水)	1	脳神経外科学講座	菅原 淳 講師	脊髄疾患1(脊髄腫瘍・脊髄疾患など)	1,3,5
講義	11/25(水)	2	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	脊髄症候学	5
講義	12/9(水)	1	医学教育学分野	田島 克巳 教授	絞扼性神経障害、外的刺激による末梢神経麻痺・損傷	1,2,5
講義	12/9(水)	2	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	脊髄疾患3/運動神経疾患	2,5

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	ハリソン内科学第5版	福井次矢、黒川 清 監修	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2017
教科書	朝倉内科学(第11版)	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017
推薦図書	ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版	田崎義昭、斎藤佳雄 著	南山堂	2016
推薦図書	臨床のための神経機能解剖学	後藤文男、天野隆弘 著	中外医学社	1992
推薦図書	神経内科ハンドブック 第5版 鑑別診断と治療	水野美邦 編	医学書院	2016
推薦図書	ニュースタANDARD脳神経外科学 4版	生塩之敬ほか編	三輪書店	2017
教科書	標準小児科学 第8版	内山 聖 監修	医学書院	2013
推薦図書	標準整形外科学 第13版	中村利孝、松野丈夫 監修	医学書院	2017
推薦図書	医学生・研修医のための神経内科学 改訂3版	神田隆 著	中外医学社	2018
推薦図書	標準脳神経外科学 第14版	児玉南海雄、峯浦一喜 監修	医学書院	2017
推薦図書	Merritt's Neurology 13th edition	Elan D. Louis, Stephan A. Mayer, Lewis P. Rowland	Wolters Kluwer	2016
参考書	内科診断学 第3版	福井次矢、奈良信雄 編集	医学書院	2016

参考書	病気がみえる vol. 7 脳・神経 第2版	メディックメディア	2017
-----	------------------------	-----------	------

・成績評価方法

総括評価：試験成績により評価する。  
 形成的評価：講義中に口頭試問や議論形式の評価を行い、学生にフィードバックする。授業参加態度についても評価する。

・特記事項・その他

神経心理学	1回
神経生化学	1回
神経電気生理学	1回
自律神経障害	1回
脱髄性疾患	1回
てんかん・頭痛	1回
小脳性疾患	1回
錐体外路性疾患	2回
筋疾患	3回
脳血管障害	7回
小児神経疾患	2回
神経疾患のケーススタディ	3回
末梢神経絞扼性疾患・損傷	1回（小テストの解説は本講義内で行う）

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、PC、インターネット環境、

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	筋電計	1	実習用
講義	脳波計	1	実習用